

平成28年度

稲敷市水道事業会計決算の概要



水道事業会計

工業用水道事業会計

平成28年度 水道事業会計決算の概要

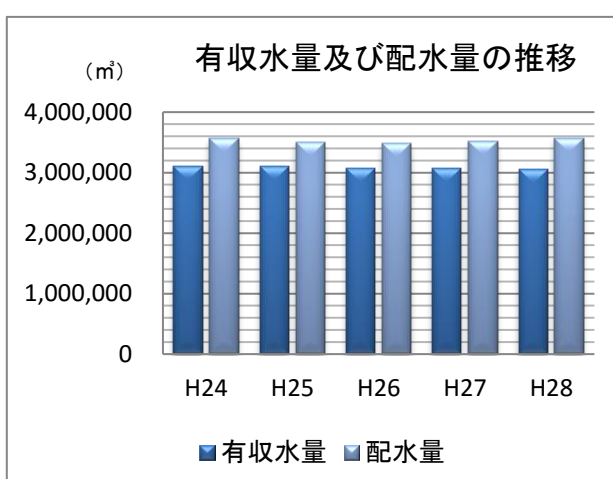
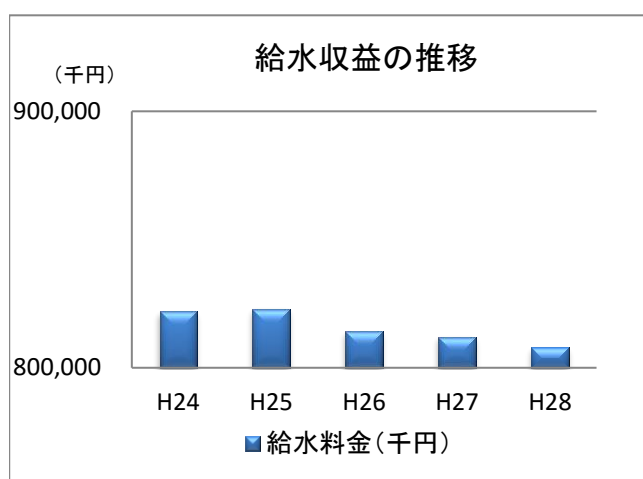
◎ 総括事項

平成28年度末の給水人口は29,581人で、給水件数は10,832件、普及率では71.1%となり、前年度に比べ件数で60件、普及率で0.1%の増加となりました。

年間配水量3,546,326^m³、有収水量3,046,975^m³で、有収率は85.9%となりました。

事業収益は973,420千円で、うち営業収益の給水収益は808,041千円となり、前年度に比べ0.5%の減少となりました。事業費用は916,069千円で、損益では57,351千円の純利益となっております。主な事業として施設更新事業基本計画や、水道事業経営の指針となる「経営戦略」を策定しました。

資本的支出は108,341千円で、うち配水管施設改良費は、60,760千円となり、配水管新設・布設替工事等6件を実施しました。



◎ 業務の実績

項目	単位	平成28年度	平成27年度	増減	増減率(%)
給水区域内人口	人	41,619	42,333	△ 714	△ 1.69
給水人口	人	29,581	30,044	△ 463	△ 1.54
普及率	%	71.1	71.0	0.1	0.14
計画給水人口	人	43,050	43,050	0	0.00
給水件数	件	10,832	10,772	60	0.56
給水件数(一般家庭用)	件	10,094	10,041	53	0.53
新規加入件数(全体)	件	110	155	△ 45	△ 29.03
新規加入件数(一般家庭用)	件	97	127	△ 30	△ 23.62
導・送・配水管延長	m	587,775	515,201	72,574	14.09
配水能力	日/m³	14,228	14,228	0	0.00
年間配水量	m³	3,546,326	3,511,446	34,880	0.99
県水受水量	m³	3,175,696	3,203,272	△ 27,576	△ 0.86
自己水源	m³	443,924	457,315	△ 13,391	△ 2.93
年間有収水量	m³	3,046,975	3,062,788	△ 15,813	△ 0.52
有収率	%	85.9	87.2	△ 1.3	△ 1.49
一日平均配水量	m³	9,716	9,594	122	1.27
一日最大配水量	m³	10,722	11,042	△ 320	△ 2.90

◎ 比較損益計算書

(単位:円)

科 目	平成28年度	平成27年度	増減	増減率(%)
事業収益	973,419,859	967,366,929	6,052,930	0.63
営業収益	830,513,236	837,129,341	△ 6,616,105	△ 0.79
営業外収益	142,906,623	130,237,588	12,669,035	9.73
特別利益	0	0	0	0.00
事業費用	916,068,928	915,538,820	530,108	0.06
営業費用	903,885,194	901,489,720	2,395,474	0.27
営業外費用	12,157,394	13,447,462	△ 1,290,068	△ 9.59
特別損失	26,340	601,638	△ 575,298	△ 95.62
営業利益	△ 73,371,958	△ 64,360,379	△ 9,011,579	△ 14.00
経常利益	57,377,271	52,429,747	4,947,524	9.44
当年度純利益	57,350,931	51,828,109	5,522,822	10.66
前年度繰越利益剰余金	0	0	0	0.00
その他未処分利益 剰余金変動額	0	0	0	0.00
当年度未処分利益剰余金	57,350,931	51,828,109	5,522,822	10.66

◎ 比較貸借対照表

(単位:円)

科 目	平成28年度	平成27年度	増減	増減率(%)
固定資産	5,798,801,628	6,047,481,001	△ 248,679,373	△ 4.11
流動資産	1,258,327,711	1,059,986,686	198,341,025	18.71
資産合計	7,057,129,339	7,107,467,687	△ 50,338,348	△ 0.71
固定負債	562,331,009	602,632,673	△ 40,301,664	△ 6.69
流動負債	177,705,985	181,124,807	△ 3,418,822	△ 1.89
繰延収益	1,684,120,432	1,750,025,225	△ 65,904,793	△ 3.77
資本金	3,493,520,273	3,491,584,273	1,936,000	0.06
剰余金	1,139,451,640	1,082,100,709	57,350,931	5.30
負債・資本合計	7,057,129,339	7,107,467,687	△ 50,338,348	△ 0.71

◎ 企業債

平成28年度企業債償還額は47,186,384円で、年度末未償還残高は556,175,237円となります。

未償還残高は、これまで企業債借入れを抑制してきたことから毎年減少し、平成27年度未償還残高と比較しますと7.8%の減となります。

企業債増減額

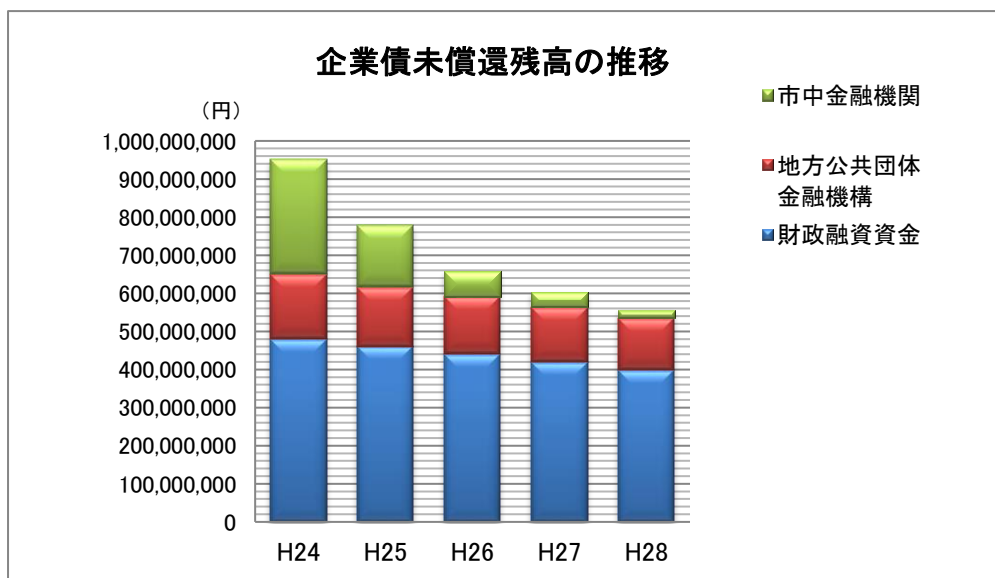
(単位:円)

項 目	発行総額	27年度末残高	28年度		償還高累計額	28年度末未償還残高
			借入額	償還額		
財政融資資金	585,600,000	419,302,956	0	21,089,354	187,386,398	398,213,602
地方公共団体 金融機構	177,200,000	144,423,935	0	6,787,792	39,563,857	137,636,143
市中金融機関	157,000,000	39,634,730	0	19,309,238	136,674,508	20,325,492
合 計	919,800,000	603,361,621	0	47,186,384	363,624,763	556,175,237

未償還残高の推移

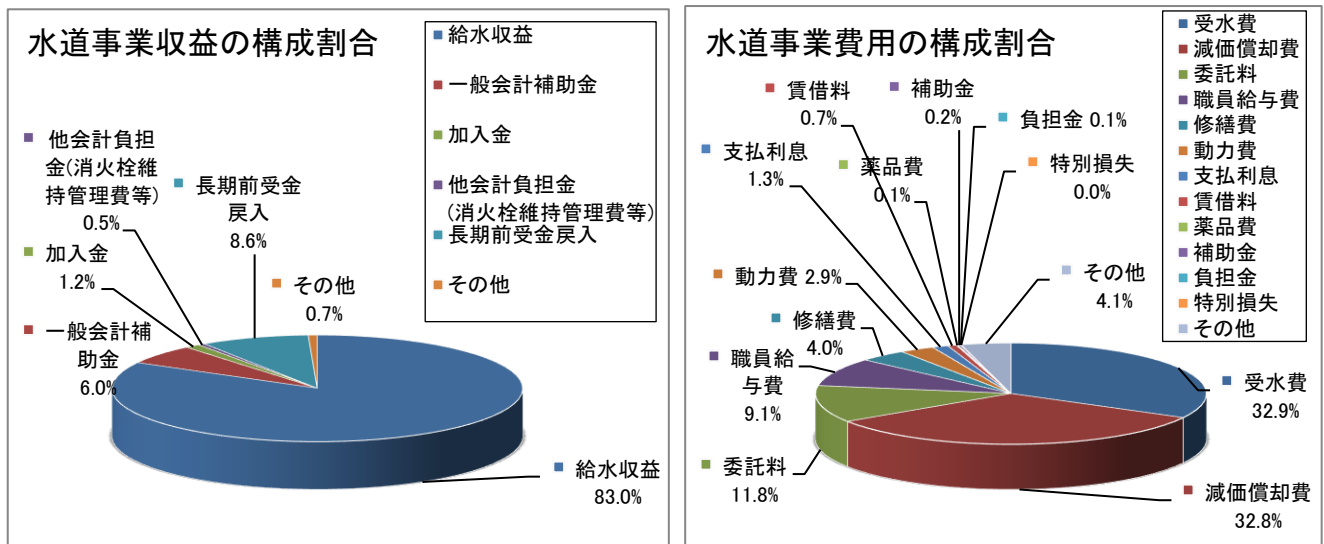
(単位:円,%)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度 (A)	平成28年度 (B)	対前年度増減額 (C)=(B)-(A)	対前年度増減率 (C)/(A)×100
財政融資資金	478,850,805	459,599,540	439,757,445	419,302,956	398,213,602	△ 21,089,354	△ 5.0
地方公共団体 金融機構	170,168,306	157,583,690	151,072,142	144,423,935	137,636,143	△ 6,787,792	△ 4.7
市中金融機関	303,057,625	160,003,660	68,178,978	39,634,730	20,325,492	△ 19,309,238	△ 48.7
合 計	952,076,736	777,186,890	659,008,565	603,361,621	556,175,237	△ 47,186,384	△ 7.8



【平成28年度収益的収支】

水道事業会計のうち、施設の運転、管理等、水道事業を運営するための経費とその財源



◎ 水道事業収益の構成(税抜)

(単位:円)

科 目	28年度(A)		27年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
給 水 収 益	808,041,326	83.0	812,119,047	84.0	△ 4,077,721	△ 0.5
一 般 会 計 補 助 金	58,770,600	6.0	44,958,400	4.6	13,812,200	30.7
加 入 金	11,360,000	1.2	13,765,000	1.4	△ 2,405,000	△ 17.5
他 会 計 負 担 金 (消火栓維持管理費等)	5,061,000	0.5	5,311,000	0.6	△ 250,000	△ 4.7
長 期 前 受 金 戻 入	83,330,546	8.6	84,016,950	8.7	△ 686,404	△ 0.8
そ の 他	6,856,387	0.7	7,196,532	0.7	△ 340,145	△ 4.7
収 益 合 計	973,419,859	100.0	967,366,929	100.0	6,052,930	0.6

◎ 水道事業費用の構成(税抜)

(単位:円)

科 目	28年度(A)		27年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
受 水 費	301,499,551	32.9	302,738,172	33.1	△ 1,238,621	△ 0.41
減 価 償 却 費	300,561,508	32.8	303,465,556	33.2	△ 2,904,048	△ 0.96
委 託 料	107,976,747	11.8	101,673,789	11.1	6,302,958	6.20
職 員 給 与 費	83,099,097	9.1	88,586,194	9.7	△ 5,487,097	△ 6.19
修 繕 費	36,482,545	4.0	32,863,247	3.6	3,619,298	11.01
動 力 費	26,405,618	2.9	30,492,093	3.3	△ 4,086,475	△ 13.40
支 払 利 息	12,115,262	1.3	13,121,451	1.4	△ 1,006,189	△ 7.67
賃 借 料	6,794,360	0.7	6,794,360	0.7	0	0.00
薬 品 費	1,213,440	0.1	1,302,160	0.1	△ 88,720	△ 6.81
補 助 金	1,518,521	0.2	1,046,297	0.1	472,224	45.13
負 担 金	751,560	0.1	787,663	0.1	△ 36,103	△ 4.58
特 別 損 失	26,340	0.0	601,638	0.1	△ 575,298	△ 95.62
そ の 他	37,624,379	4.1	32,066,200	3.5	5,558,179	17.33
費 用 合 計	916,068,928	100.0	915,538,820	100.0	530,108	0.06

※28年度貸倒引当金:不納欠損処分983,330円

※27年度貸倒引当金:不納欠損処分2,425,742円

【給水原価と供給単価】

◎ 給水原価

(経常費用－(受託工事費＋材料及び不用品売却原価＋附帯事業費＋長期前受金戻入))÷年間総有収水量
 効率性の視点から見た指標の判断→「低い」ほうがよい

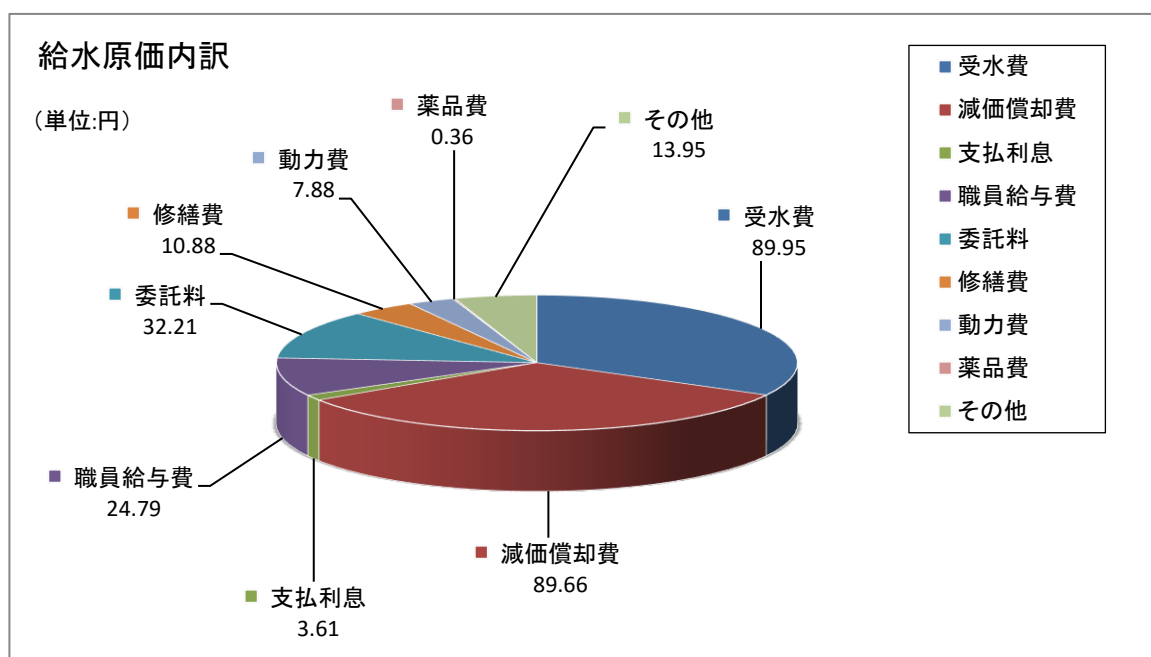
収益につながる水量1m³当たりについて、どれだけの費用がかかっているかを表すもので、1m³の水を製造するのにいくらかかるかを示す指標です。水道の生産原価を示しています。

・給水原価とその内訳

給水原価の使途はグラフのとおりです。給水原価273.29円のうち受水費と減価償却費が65.7% (179.61円)を占めています。

区 分	28年度	27年度	26年度	25年度
給水原価(A)	273.29	271.30	272.29	271.08

(単位:円/m³)



◎ 供給単価

給水収益÷年間総有収水量

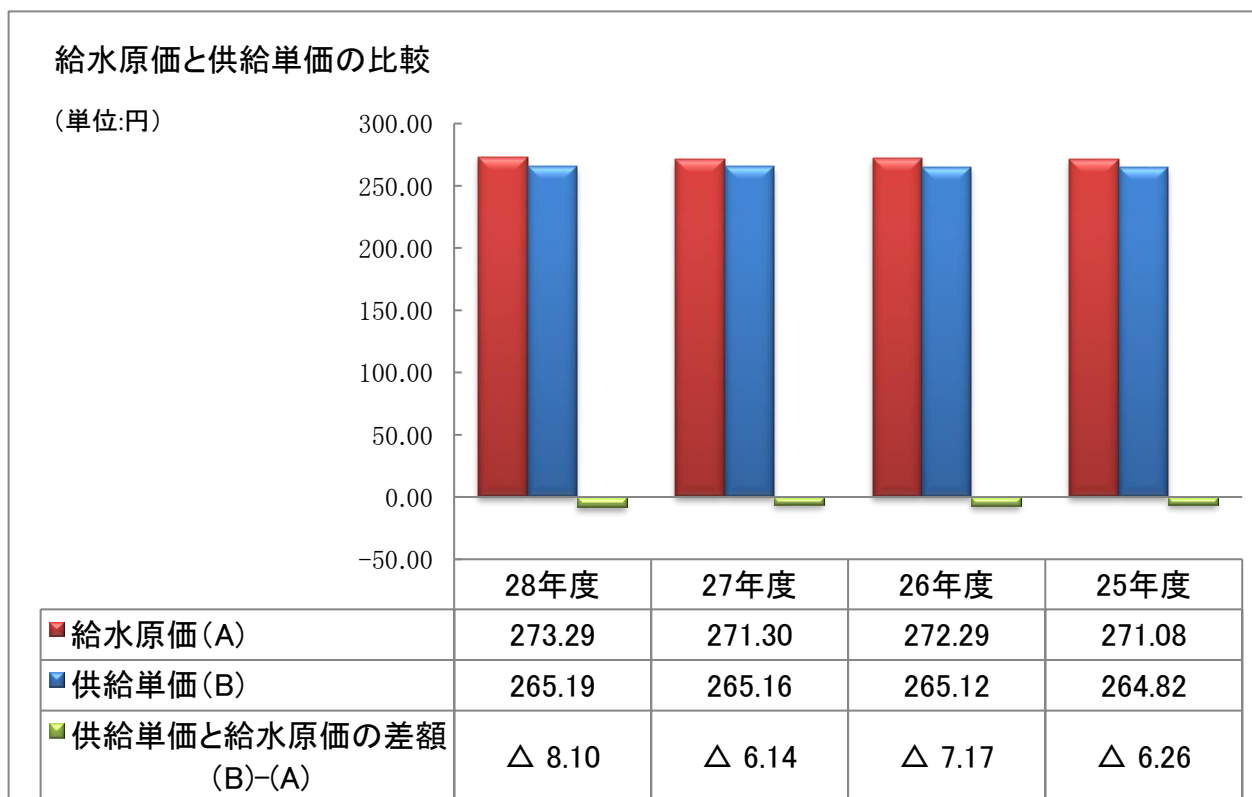
効率性の視点から見た指標の判断→「高い」ほうがよい

有収水量1m³当たりについてどれだけ収益を得ているかを表すもので、1m³の水を供給したときの平均収入額を見る指標です。

区 分	28年度	27年度	26年度	25年度
供給単価(B)	265.19	265.16	265.12	264.82

◎ 給水原価と供給単価の比較

「給水原価」が「供給単価」を上回っている場合は、給水にかかる費用を補うのに、水道料金以外の収入が必要な状況にあるといえます。1m³当たりの水を供給するのにかかる費用と1m³当たりの水道料金の平均収入を比較することにより、原価回収されているかをみることができます。供給単価と給水原価の差が、プラスになると利益が出ていることとなりますが、稲敷市の場合、給水原価が供給単価を上回っている状況にあります。



【経営分析】

◎ 財務分析表

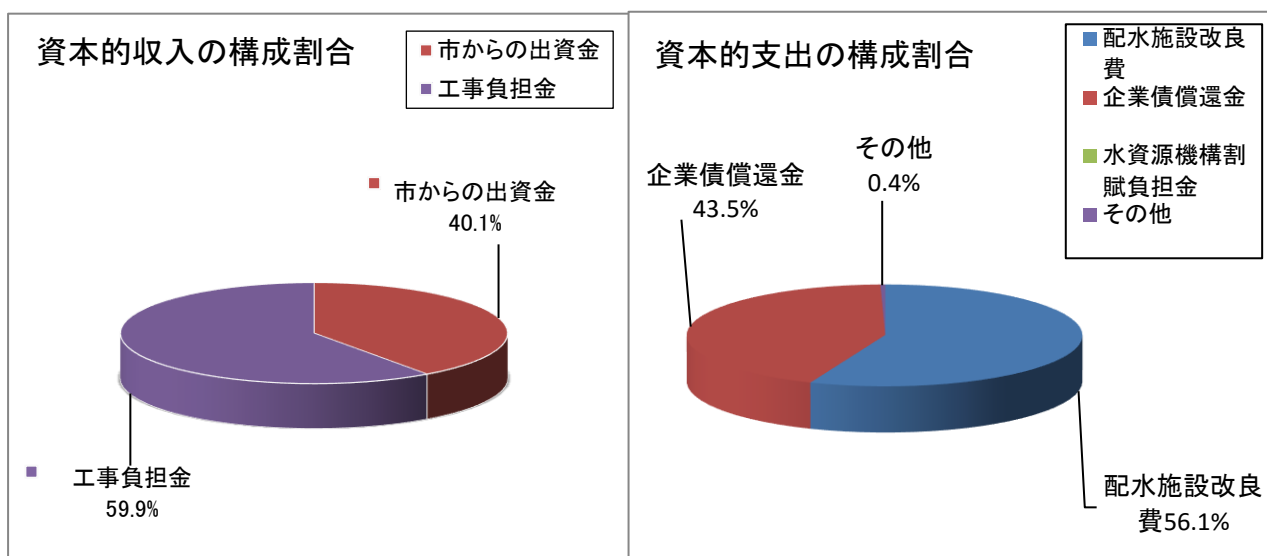
分析項目	平成28年度	平成27年度	県平均 (27年度参照)	解説
1. 自己資本構成比率(%)	89.5	89.0	64.5	総資本に対する自己資本金の占める割合。経営の安定性を判断する指標。
2. 固定資産対長期資本比率(%)	84.3	87.3	91.7	固定資産の調達が長期資本の範囲でまかなわれているかを示し、低いほど安定性が高く100%以下が望ましい。
3. 流動比率(%)	708.1	585.2	290.8	企業の支払い能力を示す。
4. 総収支比率(%)	106.3	105.7	190.2	総費用に対する総収益の割合。総収支の安定性を判断する指標。100%以上が安定的とされる。
5. 経常収支比率(%)	106.3	105.7	110.2	経常費用に対する経常収益の割合。経常収支の安定性を判断する指標。100%以上が安定的とされる。
6. 営業収支比率(%)	91.9	92.9	104.1	業務活動によってもたらされた営業収益と、それに要した営業費用とを対比して業務活動の能率を示すものであり、これによって経営活動の成否が判断されるものである。
7. 企業債償還額対減価償却比率(%)	15.7	18.3	63.6	企業債償還額とその主要償還財源である減価償却を比較したものである。
8. 給水収益に対する比率(%)				
(1) 企業債償還元金	5.8	6.9	23.1	料金収入に対して企業債償還額の比率を表したものの。比率は低いほど良好。
(2) 企業債利息	1.5	1.6	7.0	料金収入に対して企業債利息の比率を表したものの。比率は低いほど良好。
(3) 減価償却費	37.2	37.4	36.3	料金収入に対して減価償却の比率を表したものの。比率は低いほど良好。
(4) 職員給与費	9.3	9.8	9.3	料金収入に対して職員給与費の比率を表したものの。比率は低いほど良好。

◎ 経営分析表

分析項目	平成28年度	平成27年度	県平均 (27年度参照)	解説
1. 施設利用率(%)	69.8	67.4	64.4	配水能力に対する平均の割合を示し、施設の利用度を見るものである。比率は大きいほど良い。
2. 負荷率(%)	90.6	86.9	88.3	施設が年間を通じて有効に使用されているかを示す。比率は大きいほど良い。
3. 最大稼働率(%)	77.1	77.6	72.9	配水能力に対する最大配水量の割合を示し、この率が極端に低いと過大投資を示し、逆の場合は施設の拡充が必要である。
4. 配水管使用効率(m ³ /m)	6.0	6.8	13.2	配水管使用効率は、導・送・配水管の布設延長に対する年間総配水量の割合であり、給水区域の人口密度の影響を受ける。数値が高いほどよいとされている。
5. 固定資産使用効率(m ³ /万円)	6.2	5.9	6.7	有形固定資産に対する年間総配水量の割合。この比率が高いほど施設が効率的であり、低い場合には遊休資産・未稼働資産についての検討を要する。
6. 供給単価(円/m ³)	265.2	265.2	196.9	有収水量1m ³ 当たりどれだけの収益を得ているかを表す。
7. 給水原価(円/m ³)	273.3	271.3	216.9	有収水量1m ³ 当たりどれだけの費用がかかっているかを表す。
8. 職員1人当の給水人口(人)	2,689	2,504	4,268	
9. 職員1人当の有収水量(千m ³ /人)	277	255	428	人的資源が効率的に活用されているか否かを示す指標であり、数値が大きいほど職員1人当たりの生産性が高いことを示している。
10. 職員1人当の営業収益(千円)	75,501	69,761	88,778	

【平成28年度資本的収支】

水道事業会計のうち、水道施設を建設・整備するための経費とその財源



◎ 資本的収入の構成 (税込)

(単位:円)

科 目	28年度(A)		27年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
借入金(企業債)	0	0.0	0	0.0	0	0.00
市からの出資金	1,936,000	40.1	7,414,000	72.5	△ 5,478,000	△ 73.89
国庫補助金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
工事負担金	2,896,560	59.9	2,817,720	27.5	78,840	2.80
資本的収入合計	4,832,560	100.0	10,231,720	100.0	△ 5,399,160	△ 52.77

◎ 資本的支出の構成 (税込)

(単位:円)

科 目	28年度(A)		27年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
配水施設改良費	60,759,720	56.1	183,911,158	76.1	△ 123,151,438	△ 66.96
企業債償還金	47,186,384	43.5	55,646,944	23.0	△ 8,460,560	△ 15.20
水資源機構割賦負担金	0	0.0	1,106,994	0.5	△ 1,106,994	皆減
その他	394,470	0.4	949,770	0.4	△ 555,300	△ 58.47
資本的支出合計	108,340,574	100.0	241,614,866	100.0	△ 133,274,292	△ 55.16

◎ 資本的収支の不足額 (税込)

(単位:円)

科 目		28年度(A)	27年度(B)	増減(A)-(B)
資本的収支不足額		103,508,014	231,383,146	△ 127,875,132
補填財源内訳	過年度分損益勘定留保資金	99,007,294	112,861,927	△ 13,854,633
	当年度分損益勘定留保資金		104,826,330	△ 104,826,330
	減債積立金	0	0	0
	建設改良積立金	0	0	0
	その他 (当年度消費税資本的収支調整額)	4,500,720	13,694,889	△ 9,194,169

◎ 工事概況

(1)建設改良工事の概況

(単位:円)

	工事名	施工内容		契約金額(税込)
平成27年度 繰越建設改良工事	H27稲水 県道改良に伴う犬塚地区配水管布設工事	配水管布設工事	L=281.2m	8,046,000
平成28年度 建設改良工事	H28稲水 椎塚地区配水管布設工事	配水管布設工事 給水管切替工事	L=555.3m 1件	12,636,000
	H28稲水 江戸崎地区配水管布設工事	配水管布設工事	L=139.1m	3,616,920
	H28稲水 阿波崎地区配水管布設工事	配水管布設工事	L=272.2m	7,851,600
	H28稲水 市道整備に伴う高田地区配水管布設替工事	配水管布設替工事 給水管切替工事 消火栓設置工事 仮設配水連絡管工事	L=571.5m 4件 1基 1式	12,765,600
	H28稲水 市道(江)101号線整備に伴う配水管布設替工事	配水管布設替工事	L=74.4m	3,132,000

平成28年度 工業用水道事業会計決算概要

◎ 総括事項

平成28年度末の給水事業所数は7件で、1日契約水量は310m³となり、いずれも前年度と同じになりました。年間配水量は38,550m³で、有収水量は37,872m³となりました。

事業収益は9,759千円で、うち給水収益については8,182千円となり、前年度に比べ1.4%の増加となりました。事業費用は4,622千円で、損益では5,137千円の純利益となっております。

◎ 業務の実績

項 目	単位	平成28年度	平成27年度	増減	増減率(%)
給 水 事 業 所 数	件	7	7	0	0.0
配 水 能 力	日/m ³	870	870	0	0.0
導・送・配水管延長	m	1,884	1,884	0	0.0
年 間 配 水 量	m ³	38,550	35,247	3,303	9.4
年 間 有 収 水 量	m ³	37,872	34,613	3,259	9.4
有 収 率	%	98.2	98.2	0.0	0.0
年 間 契 約 水 量	m ³	113,150	113,460	△ 310	△ 0.3
一 日 平 均 契 約 水 量	m ³	310	310	0	0.0
一 日 平 均 配 水 量	m ³	101	96	5	5.2
一 日 最 大 配 水 量	m ³	235	201	34	16.9

◎ 比較損益計算書(税込)

(単位:円)

科 目	平成28年度	平成27年度	増減	増減率(%)
事 業 収 益	9,758,693	9,665,421	93,272	1.0
営業収益	8,182,332	8,072,380	109,952	1.4
営業外収益	1,576,361	1,593,041	△ 16,680	△ 1.0
事 業 費 用	4,621,830	5,485,263	△ 863,433	△ 15.7
営業費用	4,621,830	5,485,263	△ 863,433	△ 15.7
営業外費用	0	0	0	0.0
営 業 利 益	3,560,502	2,587,117	973,385	37.6
経 常 利 益	5,136,863	4,180,158	956,705	22.9
当 年 度 純 利 益	5,136,863	4,180,158	956,705	22.9
前年度繰越利益剰余金	0	0	0	0.0
その他未処分利益剰余金変動額	0	0	0	0.0
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	5,136,863	4,180,158	956,705	22.9

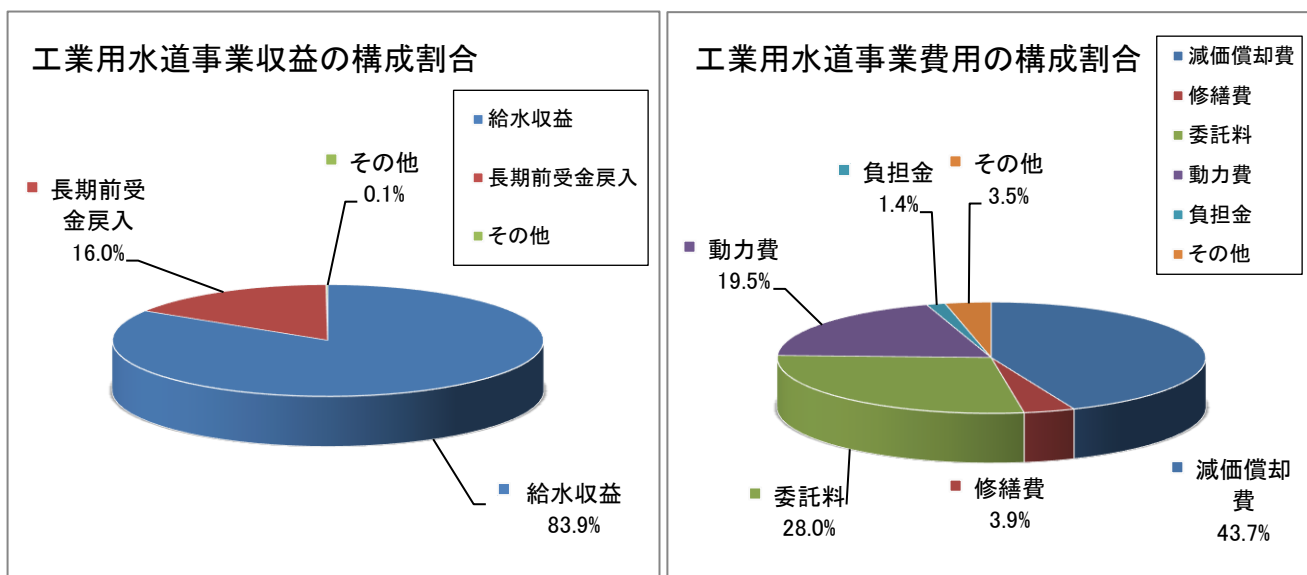
◎ 比較貸借対照表

(単位:円)

科 目	平成28年度	平成27年度	増減	増減率(%)
固 定 資 産	37,943,233	39,962,212	△ 2,018,979	△ 5.1
流 動 資 産	129,949,734	124,356,146	5,593,588	4.5
資 産 合 計	167,892,967	164,318,358	3,574,609	2.2
固 定 負 債	6,200,000	6,200,000	0	0.0
流 動 負 債	105,088	102,854	2,234	2.2
繰 延 収 益	34,830,048	36,394,536	△ 1,564,488	△ 4.3
資 本 金	96,976,488	96,976,488	0	0.0
剰 余 金	29,781,343	24,644,480	5,136,863	20.8
負 債 ・ 資 本 合 計	167,892,967	164,318,358	3,574,609	2.2

【平成28年度収益的収支】

工業用水道事業会計のうち、施設の運転、管理等、工業用水道事業を運営するための経費とその財源



◎ 工業用水道事業収益の構成 (税込)

(単位:円)

科 目	28年度(A)		27年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
給 水 収 益	8,182,332	83.9	8,072,380	83.5	109,952	1.4
長期前受金戻入	1,564,488	16.0	1,564,488	16.2	0	0.0
そ の 他	11,873	0.1	28,553	0.3	△ 16,680	△ 58.4
収 益 合 計	9,758,693	100.0	9,665,421	100.0	93,272	1.0

◎ 工業用水道事業費用の構成 (税込)

(単位:円)

科 目	28年度(A)		27年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
減 価 償 却 費	2,018,979	43.7	2,261,482	41.2	△ 242,503	△ 10.7
修 繕 費	178,200	3.9	691,200	12.6	△ 513,000	△ 74.2
委 託 料	1,296,864	28.0	1,296,864	23.7	0	0.0
動 力 費	902,006	19.5	1,009,845	18.4	△ 107,839	△ 10.7
負 担 金	65,800	1.4	65,800	1.2	0	0.0
そ の 他	159,981	3.5	160,072	2.9	△ 91	△ 0.1
費 用 合 計	4,621,830	100.0	5,485,263	100.0	△ 863,433	△ 15.7